

看護業務実態調査 (学会への質問紙調査及び聞き取り調査)

(平成 22 年度厚生労働科学特別研究事業 主任研究者 防衛医科大学校教授 前原正明)

1. 目的

- 学会から、看護師が医行為を実施する上での安全性の基準等について情報を得る。

2. 調査時期

- 平成 22 年 10～11 月

3. 調査対象

- 広告可能な医師の専門性に関する資格を認定する学会等：58 学会
- 日本看護系学会協議会：37 学会
- その他の学会（多職種により構成される学会）：16 学会

4. 調査内容

- 各学会の領域において作成されている看護師が医行為を実施する上での安全性の基準（ガイドラインやプロトコール）

※ 例えば、褥瘡処置のガイドライン、苦痛緩和に関するガイドライン、高齢者の胃ろう閉鎖プロトコール等の患者に対して看護師が行う医行為に関連するガイドラインやプロトコール

- 上記のガイドラインやプロトコールに関連した研修の実施状況

5. 調査方法案

- 質問紙調査
- 面接による聞き取り調査
調査票の回答をもとに聞き取り調査が必要な学会に対し、面談による聞き取り調査を実施。